

森林パトロール通信

令和5年6月発行 第1号

「あすなろ自遊モリ森」(遊々の森)

森林教室・空中取り木苗作製体験を実施しました

中泊町立中里中学校と当支署の間で平成24年に「あすなろ自遊モリ(遊々の森)」の協定を締結し、今年で12年目となります。「遊々の森」体験活動の第1回目を、6月1日(木)に行いました。

今回は1年生53人を対象に行いましたが、校長先生から、「遊々の森の協定に係る経緯や、ここでしかできない貴重な体験なので楽しんでください」と挨拶をいただき、また畠山支署長からは、「青森ヒバは日本三大美林のひとつで、様々な特徴がある。今回の森林教室をとおして森林に興味を持ってもらいたい」と挨拶がありました。当支署職員が、中学校体育館で森林の役割、空中取り木苗の作製方法を理解してもらうためにスライドを用い説明をしたあと、実際に空中取り木苗作製のために現地へ移動しました。



スクールバスで今泉山356林班に到着後は、総括森林整備官からの安全指導の後、「元気、やる気、取り木!!」のかけ声とともにそれぞれの班に分かれ空中取り

木苗作製に取りかかりました。

生徒たちは各班コーチの指導の下、剪定ばさみで不要な葉を切り落としカッターを器用に使いヒバの枝の樹皮を剥がし、剥がした部分を水苔で覆いラップを被せるといった作業を仲間と協力しながら進めていました。

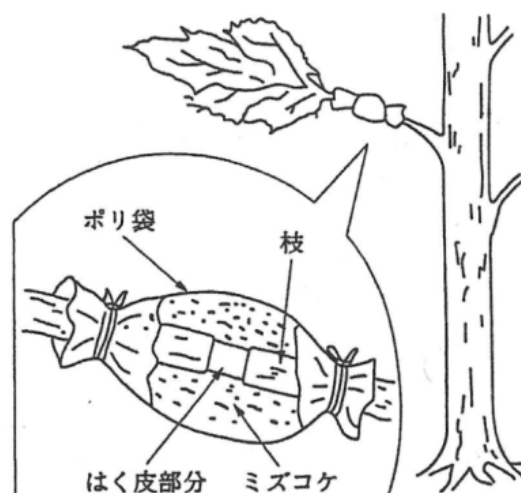
ヒバの枝の樹皮がキレイに剥がれると、「ヒバの肌が白くてとてもキレイ」「うまく剥がれると気持ちいい」といった声も聞こえました。各自1本ずつ空中取り木苗を完成させ、それぞれのネームプレートを取り付け作業終了となりました。



作業終了後には、2名の生徒が代表して空中取り木苗作製作業に関する感想を発表し、校長先生からは事前の現地整備等をしっかりやっていただいたおかげでケガ無く終える事が出来たことに対する感謝の言葉をいただきました。

その後、生徒たちは10月に再開することを楽しみに帰路につきました。

今回作製した空中取り木苗は、10月5日に実施予定としている3回目の「遊々の森」体験活動において植樹することとなります。それまでの間、空中取り木苗が順調に育ってくれるのを祈るばかりです。



小田川土地改良区主催の「水の旅」に

講師として参加しました

小田川土地改良区より、地元小学生を対象に実施している校外学習「水の旅」に職員の講師派遣依頼があり、当支署から4人が参加してきました。

今年度は、6月13日に五所川原市立いずみ小学校4年生16人、6月15日に五所川原市立金木小学校4年生30人に「水源の森」において、「水を作る森林」をテーマに約50分の森林教室を行いました。

紙芝居を利用し、森林の働きに関する「地球温暖化防止・土砂崩れ防止・水源涵養能力」について学び、また、「青森ヒバの特徴」等についてクイズを交えながら説明しました。



次に、「砂」・「礫質土」・「腐葉土」の3種類を山に置き換えて、雨が降ったらどうなるのか、という実験を行いました。それぞれに「ジョウロ」で水をかけると、生徒からは「砂は水と一緒にすごい勢いで出てきた」「真ん中（礫質土）のは水が濁ってる」「こっち（腐葉土）のは水がなかなか出てこないし、出てきた水がきれい」と素直な感想を言っていました。



最後に、森林が水を浄化する働きを再現した簡単な「ろ過装置」の実験を行いました。ドロドロに濁った水をろ過装置に入れると、「テレビで見たことあるけど、実際に見るとホントに水がきれいになる」「あんなに濁ってた水がこんなにも透明になるなんて」と驚きの声が山に響き渡りました。

15日はあいにくの小雨模様でしたが、いずみ小学校、金木小学校ともに生徒たちは、真剣に私たちの話を聞いていました。

こういった森林教室を体験してもらい、少しでも森林に興味を持ってもらえたらと思います。



◎編集後記◎

今回は、中学校と小学校の森林教室の状況についてお知らせしました。

次回は、6月21日実施の毎年恒例クリーン作戦、中里中学校2回目の「遊々の森」の状況についてお伝えしたいと思います。

昨年度は、8月の集中豪雨以降「森林パトロール通信」の発行が途絶えていましたが、今年度は、森林巡視員の会の皆様とのイベントや、金木支署主催のイベントを中心に皆様にお伝えしていきたいと考えております。

今後とも「森林パトロール通信」の発行を楽しみにしていただけたら幸いです。